

新型コロナウイルスワクチン接種

オミクロン株対応ワクチン接種を実施しています

- ◆12歳以上で、2回目の接種が完了しているすべてのかたが対象です
- ◆オミクロン株と従来株に対応したワクチンです
- ◆接種券は前回の接種から3か月以上経過したかたに、次の新しい接種券お送りしています
 - ▶5回目接種券…4回目の接種を完了したかた
 - ▶3・4回目接種券…2・3回目の接種を完了したかた
- ◆未使用の接種券をお持ちのかたは、そのままオミクロン株対応ワクチン接種に使用できます
- ◆紛失などで接種券の再発行を希望する場合は、コールセンターか専用ウェブサイトから申請できます

「ワクチン予約サポートセンター」をご利用ください

予約でお困りのかたのために、下記の施設で予約支援(代理予約)を行っています。希望されるかたは直接会場へお越しください。

日時▶9:30~17:00(平日)

会場▶市役所、東部・西部・北部・河辺・雄和の各市民SC、南部市民SC別館、河辺岩見三内地区コミュニティセンター、大正寺連絡所

秋田駅東口から集団接種会場の秋田大学医学部体育館へのシャトルバスを運行しています

運行時間など詳しくは専用ウェブサイトをご覧ください。秋田大学病院正面入口のロータリーから秋田大学医学部体育館まで巡回バスも運行しています。

1・2回目接種がお済みでないかたは、年内に1・2回目接種を完了することをご検討ください

国では、1・2回目接種に使用している従来型ワクチンの供給を年内で終了する予定としています。オミクロン株対応ワクチンは、12歳以上のかたで1・2回目接種が完了しないと接種できませんので、接種をご希望のかたはなるべく早めに受けてください。

また、これまで2年間、年末年始の後に新型コロナウイルスは流行しています。計画的な接種をご検討ください。

生後6か月~4歳のお子さんの1~3回目のワクチン接種を実施します

- ◆11月20日(日)から西武秋田店3階で集団接種を実施します
- ◆乳幼児(生後6か月~4歳)の接種は1回目の接種から3週間、2回目接種から8週間の間隔を空けて計3回行います
- ◆対象となるかたには、11月17日(木)から順次接種券をお送りしています

5~11歳のお子さんの3回目のワクチン接種を実施しています

- ◆5~11歳で、2回目の接種が完了しているかたが対象です。前回の接種から5か月以上経過したかたに順次接種券をお送りしています
- ◆15歳以下の接種には原則保護者の同伴が必要です。また、予診票には必ず保護者の署名をお願いします

- ◆新型コロナウイルスワクチンはインフルエンザワクチンとの同時接種が可能です
- ◆新型コロナウイルスに感染したことがあるかたも接種が可能です
- ◆ワクチン接種は、強制ではなく、本人の意思に基づき受けていただくものです。周りのかたなどに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることがないようにお願いします
- ◆一部のコンビニエンスストアで、予防接種証明書の発行が可能です。発行にはマイナンバーカードと発行料(120円)が必要です。詳しくは、専用ウェブサイトをご確認ください

ワクチン接種専用ウェブサイト
<https://acity-va.com>



ワクチン専用ウェブ

秋田市新型コロナウイルス
ワクチン接種コールセンター

☎0120-73-8970 (平日9:00~18:00)

▶聴覚に障がいのあるかたや、電話での問い合わせが難しいかたはFAXでも受け付けています。

健康管理課FAX(883)1158

◆発熱などで相談先に迷ったら、新型コロナウイルス感染症総合案内窓口へ

かかりつけ医がないなど、医療機関に迷う場合は下記へご相談ください。
LINEでも相談できます。右記のコードからアクセスしてください。

☎(895)9176/8:00~17:00 ■☎(866)7050/17:00~翌8:00

24時間
受付



新型コロナウイルスLINE

みんなですべて予防！ インフルエンザ



インフルエンザは、子どもが発症すると、まれに急性脳症を、高齢のかたや免疫力の低下しているかたが発症すると、肺炎を伴うなど重症になる場合もあります。インフルエンザに負けない正しい予防方法を身につけ、健康に過ごしましょう。

インフルエンザの感染経路

飛沫感染

インフルエンザに感染した人の、咳やくしゃみから出る小さな水滴(飛沫)に混じるウイルスを直接吸い込み感染する

接触感染

ドアノブや電気のスイッチなど不特定多数の人が触るものに付着したウイルスが、後から触った人の手に付着し、鼻や口などの粘膜から侵入し感染する

インフルエンザの対策

1

飛沫感染対策！ 咳エチケット

咳やくしゃみを他の人に向けてしない
咳やくしゃみが出るときはマスクを

- 【正しい手洗い方法】
- ① 流水で両手を十分に濡らす
 - ② 石けんを泡立て、手首から5センチ上まで、15〜30秒間もみ洗い
 - ③ 手のひらと手の甲をこすり洗い



2

接触感染対策！ 手洗い

したり、上着の内側や袖で覆う
手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときはすぐに手を洗う
鼻汁、痰を含んだティッシュはすぐにフタ付きのごみ箱に捨てるか、ビニール袋に入れて密封する

3

適度な湿度を保つ

- ④ 汚れがつきやすい指先、爪は入念に、指の間、親指、手首も忘れずに
- ⑤ 指先を上に向け、流水で洗い流す
- ⑥ 洗った手は、よく乾いた清潔なタオルで拭く



4

流行前に 予防接種を受ける

予防接種は、発症した場合に症状を軽くする効果が期待できます。また、発症を一定程度抑える効果も認められています。予防効果の期間は、接種した2週間後から5か月程度と考えられています。

①②のかたが、10月から2月末までに受けたインフルエンザの予防接種費の一部を助成します

問い合わせは健康管理課へ
病気については感染症・難病担当☎(883)1180
予防接種については予防接種担当☎(883)1179



- ① 65歳以上のかた
- ② 60〜64歳で、心臓、じん臓、呼吸器の機能などの障がいや身体障害者手帳1級のかた

*詳しくは、広報あきた9月16日号の7ページか市ホームページをご覧ください。

広報ID番号 1005581

日頃から、十分な休養とバランスのとれた栄養をとり、不要不急な人混みへの外出は控えましょう。

インフルエンザかな？と思ったら

- ▼ 具合が悪いときは、早めに医療機関を受診しましょう
 - ▼ 安静にして休養をとりましょう。特に十分な睡眠と水分補給が大切です
 - ▼ 薬は医師の指示に従って、正しく服用しましょう
 - ▼ 咳やくしゃみの症状があるときはマスクをしましょう
- 発病前日から発病後3〜7日間はウイルスを排出するといわれ、そのウイルス量は解熱とともに減少しますが、解熱後もウイルスを排出するといわれています。